

別紙2 新たに「選定」した建物や庭園

NO	選定番号	区	選定名称	推薦理由（抜粋）
1	第13-001号	北	かもいけ 鴨井家	鎌倉時代から存在する築100年以上の酒造りも 行っていた住宅である。東郷平八郎が狩猟のため 宿泊に利用していた。北山杉や太い桧を使用した 木造建築で、広い庭のある、見晴らしの良い家だ である。
2	第13-002号	上京	やだけ かしょうあん 矢田家（華笑庵）	大正の終わりから昭和初期に建てられた京町家 である。西陣に位置し、かつては織物関係の仕事 場としても使用されていた。2階の表側に10畳 の広い座敷があり、店の間と密接した営業を行う ための動線を確認することに重きを置いた平面構 成となっている。
3	第13-003号	上京	おおたけ 太田家	西陣に位置し、明治時代から西陣織の織元で あった京町家である。近隣には首途（かどで） 八幡宮、本隆寺があり、後鳥羽上皇の退位後の 住まい五辻殿（院御所）から、五辻の通り名や 町名が残っている。
4	第13-004号	（非公表）		
5	第13-005号	左京	にほんきりすときょうだんきょうほくきょうかい 日本基督教団京北教会	建物は昭和16年（1941）に建設されたもので あるが、教会創立は明治42年（1909）で100年 以上の歴史がある。簡素であたたかい雰囲気 の堂内と美しい外観を持つ。
6	第13-006号	東山	せいりょうざん ほうじゅじ 清涼山 寶樹寺	浄土宗西山禅林寺派に属し、法然上人・西山上 人が示された教えを伝える道場であり、大正14 年（1925）に上棟した。鎌倉時代の阿弥陀如来立 像他を有し、町の地藏盆、茶道教室、門前掲示等 の活動で地域に親しまれている。
7	第13-007号	東山	ばくまついしん 幕末維新ミュージアム りょうぜんれきしかん 霊山歴史館	昭和44年（1969）竣工の鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階、三州産いぶし瓦を使用した大 きな反りのある屋根が特徴で、歴史博物館にふさ わしい重厚感があり、東山の景観の構成要素とな っている。北側に位置する幕末志士の墓がある霊 山護国神社と関連した展示を行っており、歴史を 継承していく役割も担っている。

NO	選定番号	区	選定名称	推薦理由（抜粋）
8	第 13-008 号	東山	<small>みやがわちょう</small> 宮川町 <small>よし</small> うめ喜	<p>明治36年（1903）建築のお茶屋として使われてきた建物である。建て替えが進む宮川町において、いまなお、連棟家屋、お茶屋格子とすだれ、2階の座敷など、芸妓・舞妓が育んだ歴史・文化と花街の彩を残している。</p>
9	第 13-009 号	伏見	<small>かやおじんじゃ</small> 萱尾神社	<p>斉明天皇元年（655）創建、本殿は慶安3年（1650）に再建された。本殿は一間社流造りで、以前は檜皮葺きであったが、昭和36年（1961）に銅板葺きとなった。柱や虹梁には彩色の丹塗りが施されている。神事の他地域の行事も開催され、地域の氏神様として親しまれている。</p>
10	第 13-010 号	伏見	<small>じんそうざん</small> 深草山 <small>えんみょういん</small> 圓妙院	<p>宝塔寺中興円頓院日銀聖人が建立した塔頭六坊のひとつで、慶長2年（1597）に日銀の弟子円妙院日純を開祖とし、清雲坊と称した。本堂、書院、庫裡は同年に建立された。正徳5年（1715）に改修を行っている。</p>
11	第 13-011 号	伏見	<small>つじけ</small> 辻家	<p>大正時代後期の建築物。通称「赤壁の辻医院」として知られ、母屋、土蔵等赤色の漆喰壁で施されている。屋根の瓦には四神瓦、座敷南側の庭は、手入れが行き届いた植栽と杉苔が心和ませる。</p>